



ちょうどいい!
さくら市



令和7年度

さくら市議会の概要

氏家ゆうゆうパーク

さくら市議会

〒329-1392

栃木県さくら市氏家 2771

TEL 028(681)1123

FAX 028(682)3921

Mail:gikai@city.tochigi-sakura.lg.jp

目 次

●さくら市の概要

1) 位置と地勢	2
2) 旧町の沿革	2
3) 面 積	2
4) 人 口	3
5) さくら市の花・木・鳥	3
6) 統計でみるさくら市	4
7) 産 業	5
8) 財政の状況	7

●議会の概要

1) 組織・構成	1 0
2) 委員会	1 0
3) 議員構成	1 0
4) 定例会・臨時会の状況	1 1
5) 付議事件	1 2
6) 請願・陳情	1 2
7) 一般質問	1 2
8) 予算決算審査状況	1 3
9) 会議録	1 3
10) 議会広報	1 3
11) 調査・研修活動	1 4
12) 議員全員協議会	1 4
13) 議会事務局職員構成	1 4
14) 議会費予算	1 5
15) 議員報酬	1 6
16) 費用弁償	1 6

●さくら市の概要

平成17年3月28日 氏家町・喜連川町合併により『さくら市』となる。

1) 位置と地勢

さくら市は、栃木県中央部のやや北東よりで、県都宇都宮市に近隣し、東京からは直線距離で110～125km圏内で、新幹線と在来線の鉄道であれば1時間30分、高速道路利用であれば2時間の位置で、首都東京と東北地方を結ぶ東北縦貫自動車道、国道4号、JR東北線等の主要な国土連携軸上にあります。市は、南北が17.8km、東西15.6kmで、総面積125.63km²で県土の1.96%にあたり、そのうち農地が52.5%、山林が22.9%を占めています。市北部は、関東平野と那須野が原台地との間の数条の丘陵地帯と水田からなる地域で、市南部は、関東平野の最北部に位置し、鬼怒川沿いのほぼ平坦な水田地帯です。



2) 旧町の沿革

① 旧氏家町（合併の状況）

- 明治22年 町制施行により氏家町となる
- 昭和12年 絹島村芦沼の一部大中を編入
- 昭和24年 絹島村向河原を編入
- 昭和29年 熟田村（飯室、伏久、文挟を除く）を編入合併
- 昭和30年 矢板市松島を編入
- 昭和34年 阿久津町上阿久津を編入

② 旧喜連川町（合併の状況）

- 明治22年 町制施行により喜連川町となる
- 昭和30年 那須郡上江川村と合併

3) 面 積 125.63km²

4) 人口

① 国勢調査人口（各年 10月 1日現在） (単位：世帯、人)

区分	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
世帯数	13, 033	14, 917	15, 648	16, 370
人口	41, 383	44, 768	44, 901	44, 513

② 住民基本台帳人口（各年 4月 1日現在） (単位：世帯、人)

区分	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
世帯数	17, 932	18, 208	18, 376	18, 670
人口	43, 856	43, 850	43, 684	43, 560

③ 人口密度

令和7年4月1日現在 346人／km²

④ 人口集中地区 特になし

5) さくら市の花・木・鳥

市の花	さくら	市内には、お丸山公園、早乙女の桜並木、勝山城跡、ゆうゆうパークの桜づつみなど桜の見所が沢山あり、“さくら”は市名にもなっている。
市の木	さくら	さらに、日本を代表する桜を大切にする心を持ち、市内全域がさくらの里となることに願いを込めて、市の花と市の木を“さくら”とする。
市の鳥	せきれい	市内には、鬼怒川、荒川、内川、江川などが流れ、そこには清流にしか住まないといわれる“せきれい”(日本固有種の“セグロセキレイ”)が身近に見られる。 市にとって大変なじみの深い鳥であるとともに、いつまでも「清流」が保たれることに願いを込めて、市の鳥を“せきれい”とする。

6) 統計でみるさくら市

① 気候（令和6年1月～12月：氏家消防署測定）

夏は最高気温が高く、冬は最低気温が低い内陸型の気候ではあるが、冬期間は日照時間が長く、したがって降雪量は少ない。年間を通じて比較的温暖な気候である。

年間平均気温	15. 2 °C
年間降水量	1, 409. 5 mm

② 土地（令和7年1月1日：税務課）

田	47. 4%
畠	5.1%
山 林	22. 9%
宅 地	11. 9%
原野、池・沼、雑種地、その他	12. 8%

③ 産業別就業人口（令和2年国勢調査）

第1次産業及び第2次産業が減少し、第3次産業の増加傾向が見られる。

第1次産業	1, 794人	8.1%
第2次産業	6, 511人	29.5%
第3次産業	13, 610人	61.7%
分類不能	146人	0.7%
合 計	22, 061人	100.0%

7) 産業

① 農林漁業

水稻単作農業から、野菜、花き、果樹、畜産との複合農業となり、現在では水稻を中心とした土地利用型農業で20haを超える経営規模の農家が数戸ある一方、果樹や畜産の専業となっている農家も見られる。

主な農産物としては、米・麦・大豆の穀類、イチゴ・なす・にら・春菊等の野菜、果樹はリンゴ、肉用牛が挙げられる。

林業は、大規模な菌床栽培による椎茸が有名である。

漁業は、清流を活用した淡水魚養殖が盛んで、鮎、鱒の出荷が行なわれている。

総農家戸数	1,339 戸	(令和2年農林業センサス)
販売農家数	1,056 戸	〃
自給的農家数	283 戸	〃
農業産出額	1,038 千万円	(令和5年市町村別農業産出額(推計):農林水産省)

④ 工業（従業者4人以上の製造業）

喜連川工業団地と蒲須坂工業団地は、国道4号や東北道矢板インターチェンジなどの交通アクセスの良さ等から企業立地や産業集積が進んでいる。今後、未操業区画の早期操業を促進し、優良企業の誘致推進が求められる中、更なる関連企業等の誘致推進にも期待されている。

③ 商業

近年、市街地周辺の幹線道路沿線に郊外型の大規模小売店舗の出店が増加傾向をたどる中、中心市街地における既存商店街の吸引力は低下している。また、個人消費の低迷や大型量販店との厳しい競争の中、商店街の店舗数が減少し、空洞化現象が見受けられるようになってきた。

このような現状を開拓するため、中心市街地活性化基本計画に沿って氏家地区ではeプラザ参番館、喜連川地区では街の駅本陣「やまあおい」を整備している。今後も商工会と連携し、消費者ニーズを適格に把握すると共に、オリジナリティーに富んだ商品の開発、情報化や高齢化時代に即した販売方法の検討が求められる。

名称	会員数
氏家商工会	629
喜連川商工会	320

(令和7年4月1日現在)

④ 観光業

喜連川地区では昭和56年に温泉が噴出し、湯量の豊富さに加えてその泉質は硫黄、塩分、鉄分を全て含む弱アルカリ性高温泉であり、『日本三大美肌の湯』と称されている。現在市内には8か所の日帰り温泉浴場とホテルや民宿などの宿泊施設があり、道の駅と相まって年間を通じて賑わいを見せている。また、足利家の城下町としてその面影をとどめる御用堀や寒竹囲いなど歴史的情緒と祭りや行事、また新鮮な地場農産物の販売等を通じて、新たな観光客の誘致とリピーターの掘り起こしに努めることが求められている。

観光客の入込客数	1, 775, 392人	(令和6年県観光客入込数 ・宿泊数 推定調査結果)
観光客宿泊数	74, 825人	

8) 財政の状況

① 令和7年度当初予算額

(水道事業会計、下水道事業会計は支出のみ掲載)

(単位:円、%)

会計区分	令和7年度 当初予算	令和6年度 当初予算	比較	
			増減	伸率
一般会計	23,880,000	21,664,000	2,216,000	10.2
特別会計	氏家都市計画事業 上阿久津台地土地区画整理事業	134,566	247,334	△ 112,768 △ 45.6
	国民健康保険	4,056,945	3,995,999	60,946 1.5
	後期高齢者医療	619,591	616,852	2,739 0.4
	介護保険	3,826,039	3,903,220	△ 77,181 △ 2.0
水道事業会計(支出)		1,852,712	1,741,261	111,451 6.4
下水道事業会計(支出)		2,066,894	2,133,883	△ 66,989 △ 3.1
予算合計		36,436,747	34,302,549	2,134,198 6.2

② 予算配分

(令和7年度一般会計当初予算)

(単位:円、%)

款	予算額	構成比
議会費	201,131	0.8
総務費	2,922,959	12.2
民生費	8,816,699	36.9
衛生費	1,368,685	5.7
農林水産業費	643,616	2.7
商工費	1,784,821	7.6
土木費	2,462,095	10.3
消防費	839,840	3.5
教育費	3,130,154	13.1
災害復旧費	3,000	0.0
公債費	1,687,000	7.1
予備費	20,000	0.1
総額	23,880,000	100.0

* 端数処理により、計が合わない場合があります。

③ 令和6年度決算額

(単位:円、%)

会計区分		令和6年度 金額	対前年度 増減率	令和5年度	対前年度 増減率	令和4年度 金額
				金額		
一般会計	歳入	25,543,728,585	10.9	23,038,213,294	1.8	22,637,718,103
	歳出	24,068,802,724	13.5	21,213,138,097	2.9	20,619,717,967
	差引残額	1,474,925,861	△ 19.2	1,825,075,197	△ 9.6	2,018,000,136
特別会計	氏家都市計画事業上阿久津台地土地区画整理事業	歳入	223,543,156	△ 36.0	349,307,143	25.9
		歳出	223,490,156	△ 33.5	336,240,062	25.4
		差引残額	53,000	△ 99.6	13,067,081	41.6
	国民健康保険	歳入	4,045,356,167	△ 1.0	4,084,404,629	0.3
		歳出	3,821,179,529	△ 1.7	3,886,764,179	0.0
		差引残額	224,176,638	13.4	197,640,450	4.8
	後期高齢者医療	歳入	602,129,004	15.9	519,644,741	5.5
		歳出	601,382,536	18.9	505,927,505	4.3
		差引残額	746,468	△ 94.6	13,717,236	84.9
合計	介護保険	歳入	3,768,729,287	△ 0.3	3,780,787,994	3.4
		歳出	3,628,064,901	2.2	3,551,222,940	4.4
		差引残額	140,664,386	△ 38.7	229,565,054	△ 9.8
		歳入	8,639,757,614	△ 1.1	8,734,144,507	2.7
		歳出	8,274,117,122	△ 0.1	8,280,154,686	3.0
		差引残額	365,640,492	△ 19.5	453,989,821	△ 1.3
総計		歳入	34,183,486,199	7.6	31,772,357,801	2.0
		歳出	32,342,919,846	9.7	29,493,292,783	2.9
		差引残額	1,840,566,353	△ 19.2	2,279,065,018	△ 8.0

④ 主な財政分析指標

(単位:%)

分析指標	比率及び指数	
	令和6年度	令和5年度
実質収支比率	10.6	14.5
経常収支比率	94.7 (95.1)	94.7 (95.6)
公債費負担比率	11.6	12.1
実質公債費比率 (3ヵ年平均)	7.7	8.0
財政力指数 (単位なし)	0.687	0.689

⑤ 健全化法に基づく指標

(単位:%)

分析指標	比率	
	令和6年度	令和5年度
実質赤字比率	-	-
連結実質赤字比率	-	-
実質公債費比率 (3ヵ年平均)	7.7	8.0
将来負担比率	-	-

※ 「-」は、赤字または将来負担が生じていないため、該当なしを表す。

● 議会の概要（令和7年4月1日現在）

1) 組織・構成

定数・任期

条例定数	18人
現在議員数	18人
任期	令和4年12月1日～ 令和8年11月30日

2) 委員会

常任委員会

委員会名	定数	任期
総務常任委員会	6人	2年
文教厚生常任委員会	6人	2年
建設経済常任委員会	6人	2年
予算決算常任委員会	18人 ※決算は議会選出 監査委員1名を除く	2年

議会運営委員会

委員会名	定数	任期
議会運営委員会	6人	2年

特別委員会

委員会名	定数	任期
議会活性化特別委員会	18人	任期中

3) 議員構成

所属党派

無所属	17人
公明党	1人

通算在職期別（町議在職期を含む）

1期	2人
2期	2人
3期	3人
4期	0人
5期以上	11人

年齢別（満年齢）

30歳代	0人
40歳代	1人
50歳代	4人
60歳代	4人
70歳代	8人
80歳代	1人

最年少	42歳
最年長	82歳
平均	66.5歳

4) 定例会・臨時会の状況

令和6年

区分	本会議	委員会	会期日数	傍聴人数		
				本会議	委員会	合計
定 例 会	第1回(3月)	4日	7日	24日	38人	1人
	第2回(6月)	4日	5日	17日	11人	5人
	第3回(9月)	4日	7日	27日	43人	0人
	第4回(12月)	4日	4日	20日	10人	0人
	小計	16日	23日	88日	102人	6人
臨 時 会	第1回(1月)	1日	-	1日	0人	-
	第2回(5月)	1日	-	1日	0人	-
	小計	2日	-	2日	0人	-
合計		18日	23日	90日	102人	6人
						108人

5) 付議事件

令和6年

(単位:件)

区分			市長提出							議員提出					年間延件数	
			条例	予算	決算	その他	専決処分 179条	専決処分 180条	計	条例	規則	意見書	決議	その他		
定例会	30	20	7	26	3	7	93		1	1	1	1	1	15	19	112
臨時会	0	2	0	1	4	2	9		0	0	0	0	0	0	0	9
合計	30	22	7	27	7	9	102		1	1	1	1	1	15	19	121
審議方法	本会議即決	21	2	0	17	7	9	56	1	1	1	1	1	15	19	75
	委員会付託	常任	9	20	7	10	0	0	46	0	0	0	0	0	0	46
	議運	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	特別	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
議決結果	原案可決	30	22	7	27	7	9	102	1	1	1	1	1	15	19	121
	修正可決	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	否決	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	原案撤回	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	審議未了	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	翌年へ継続	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

6) 請願・陳情

令和6年

(単位:件)

区分	受理件数	処理状況		処理結果		
		委員会審査	その他	採択	不採択	その他
請願	2	2	0	2	0	0
陳情	13	4	9	1	3	9

7) 一般質問

令和6年 延24人

8) 予算決算審査状況

令和6年

区 分		審 査 方 法
一般会計		
特別会計	氏家都市計画事業上阿久津台地 土地区画整理事業	*当初予算・決算・補正予算は 予算決算常任委員会へ付託
	後期高齢者医療	
	国民健康保険	
	介護保険	
企業会計	水道事業会計	
	下水道事業会計	

9) 会議録

本会議	全文記録(業者委託)
委員会	全文記録(業者委託)
議員全員協議会	全文記録(業者委託)

10) 議会広報

- ① 名 称 さくら市議会だより
- ② 発行開始 平成17年6月
- ③ 発行回数 定期号(年4回、定例会後)・臨時号
- ④ 発行部数 11,000部(新聞折込等)
- ⑤ 編集主体 議会広報委員会
- ⑥ 構 成
 - ・委員 9人(各常任委員会の委員長「計3人」、各常任委員会から2人「計6人」)
 - ただし、議長が必要と認めた場合は、人数を変更することができる。
 - ・任期 2年
- ⑦ 発行予算(令和7年度)
 - ・議会だより発行業務委託一式 3,204,564円

1 1) 調査・研修活動（議員）令和7年度（当初予算計上分）

活 動 名	日 程
議員全体研修	1泊2日
議会運営委員会行政視察研修	2泊3日
各常任委員会行政視察研修	2泊3日×2回
議会広報委員会行政視察研修	1泊2日
議会だより研修会	1日

1 2) 議員全員協議会

必要な時に隨時開催

1 3) 議会事務局職員構成

事務局長1人　書記5人

14) 議会費予算

令和7年度予算

(単位:千円)

科 目	予 算 額	摘 要
報 酬	75,861	議員報酬 74,100 会計年度任用職員報酬 1,761
給 料	26,393	職員給(6人) 26,393
職員手当等	41,133	議員期末手当 24,145 職員諸手当 16,315 会計年度任用職員諸手当 673
共 濟 費	28,583	議員共済会負担金 19,756 職員共済組合負担金 8,827
報 償 費	200	報償金 200
旅 費	9,046	議員旅費 7,108 内、費用弁償 558 議員研修特別旅費 6,190 広報研修費用弁償 360 職員普通旅費 1,674 会計年度任用職員費用弁償 264
交 際 費	360	議長交際費 360
需 用 費	686	消耗品費 517 食糧費 30 修繕費 40 印刷製本費 99
役 務 費	1,108	通信運搬費 1,104 手数料 4
委 託 料	8,113	議会だより発行業務委託等 3,453 議場等音響システム点検業務 1,008 会議録等作成業務委託料 3,652
使用料及び 賃 借 料	8,123	高速道路使用料 47 議場等音響システムリース料等 7,523 会議システム使用料 553
備品購入費	321	庁用図書 30 庁用器具費 291
負担金、補助 及び交付金	1,204	各種負担金 1,204
合 計	201,131	

15) 議員報酬

区分	月額	市長等比率	区分	月額
議長	450,000円	50.0%	市長	900,000円
副議長	365,000円	40.6%	副市長	715,000円
議員	335,000円	37.2%	教育長	650,000円

16) 費用弁償

① 本会議・委員会出席 支給なし

② 公務研修

日当(1日につき)	2,600円 (県内旅行における日当支給なし)
交通費	実費
宿泊料(1夜につき)	
甲地区(東京都の区、横浜市 大阪市、名古屋市等)	14,000円
乙地区(その他の地域)	13,000円



さくら市市民憲章

さくら市は、緑濃く水清らかで、歴史と文化のいきづくまちです。
ふるさと
私たちは、この故郷を守り、さらに発展させ、未来に伝えるため、

ここに市民憲章を定めます。

- 一、自然を愛し、緑豊かなまちをつくります
- 一、互いに助け合い、思いやりの輪を広げます
- 一、歴史を大切にし、文化の薫るまちをつくります
- 一、スポーツを愛し、健やかな心と体を育みます
- 一、働くよろこびを持ち、活気あふれるまちをつくります